

活力あふれる農村地域の発展事例から学ぶ  
— 土地改良事業の実施地区から —

平成31年3月  
農林水産省

### 【工夫のポイント】

- S50年代の畑地かんがい施設整備により、**葉菜類の生産が拡大**。
- 雲仙普賢岳噴火による降灰のため**葉菜類に壊滅的被害**。耐灰性根菜類への**作付体系に重点化**。
- 老朽化した**施設の更新**と併せて**三会原地域全体の基盤整備構想**を作成し、計画的に実施することで、**児童数が増加**。

### 【取組地域の概要】

- 位置 しまばらし  
長崎県島原市（過疎・半島）



- 主要作物
  - ・人参、大根、ほうれんそう、生姜 等
- 主な支援施策
  - ・畑地帯総合土地改良事業 (S46～S53)
  - ・畑地帯総合整備事業 (H14～H19)【※第1地区】
  - ・農地整備事業 (H20～H25)【※第2地区】
  - ・水利施設等保全高度化事業 (H24～H34)【※第3～第4地区】

### 高収益作物の生産拡大や収穫機械導入による営農の安定化

畑かん施設の整備により、**高収益作物の作付が拡大**するとともに、**維持管理費が軽減**。また、**区画整理**に伴い、**機械化が導入され労力が軽減**。

### 基盤



### 基盤整備

(H14年～)

### 【整備前】

県内でも有数の根菜類の産地として発展してきたが、**畑地かんがい施設の老朽化**や**狭小不整形農地**による**非効率的な営農**を余儀なくされていた。



### 生産・出荷体制の強化

- 大根・にんじん収穫機等の導入により、**大幅な労力削減を実現**。また、生産量の増加に伴い、**処理能力の高い洗浄・選果施設の整備**や、生産部会員による**播種時期の調整**により「**定時・定量・定質**」出荷体制を確立。

### 生産現場



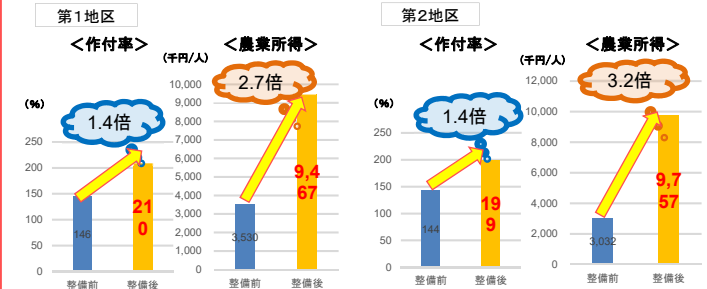
### 地域の担い手の育成

### 担い手

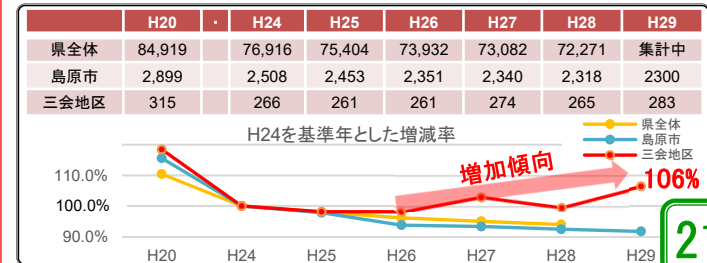
- 本地区の**113戸/338戸(約1/3)**に**後継者がおり**、**基盤整備**によって営農環境が整ったことで、地域の若者が生活し、働ける「**魅力ある就業の場**」としての**役割も担っている**。

### 「儲かる農業」の実現による地域創生・継承

- 地区内の作付率が**1.4倍**、農業所得が**2.7倍～3.2倍**に増加。



- 地域小学校や保育園の**児童数は増加傾向**。農業が基幹産業である島原市の**合計特殊出生率も2.0人(H28)**を上回り、**継続地区における今後の効果も期待される**。



【工夫のポイント】

- 基盤整備を契機として高収益作物の作付を拡大。
- 共同で白ネギの育苗管理を行うなど県内唯一の白ネギ産地として生産体制を強化するとともに、周年栽培の実現により市場からも高評価。
- 新規就農者を含む地域の担い手も確実に育成されたことで、地域活動も活発化。

【取組地域の概要】

- 位置 うんぜんし  
長崎県雲仙市（過疎・半島）



- 主要作物  
・白ネギ、ブロッコリー、人参 等
- 主な支援施策  
・農地整備事業（H23～H29）  
・雲仙市提案型農業パワーアップ対策事業（H18）  
・強い農業づくり交付金（H24）

収穫機械導入や高収益作物の生産拡大による営農の安定化

基盤整備の実施により高収益作物の面積拡大が図られ、更には機械化による営農の省力化を実現。

基盤



基盤整備  
(H23年～H29年)

【整備前】

雲仙ブランド認定商品である「八斗木白葱」の産地であるが、農地は狭小・不整形でかん水施設もなく非効率的な営農を余儀なくされていた。



安定した白ネギ生産体制の確立

- 白ネギの共同育苗施設（ハウス）の建設により部会員による集中管理が可能となり、安定した品質の白ネギ周年栽培を実現。

生産現場



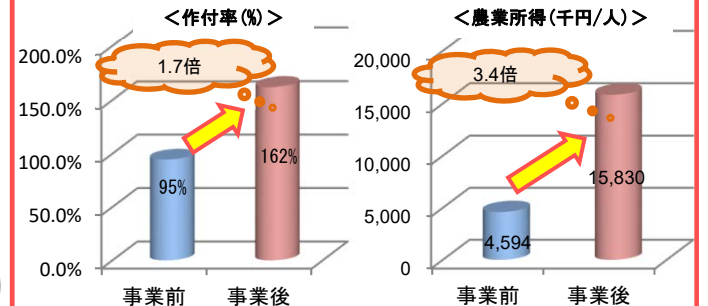
地域の担い手の育成

担い手

- 基盤整備により営農条件が改善され、所得向上が見込まれることから、5名の新規就農者も生まれるなど地域を担う後継者も育成。
- 恵まれた営農環境であることもあり、後継者以外の次男・三男も古里に残り農業を営むなど地域への愛着も醸成。

儲かる農業の確立により児童数も増加

- 地区内の作付率が1.7倍、農業所得3.4倍に増加。関係小学校の児童数が40人（H24）→60人（H30）に増加。



＜八斗木小学校児童数推移＞

